

- 「JGN2シンポジウム2006 in 仙台」の開催について  
～あらゆるリソースを繋ぐ「知の創発」～

- 平成18年1月11日

独立行政法人情報通信研究機構(以下、NICT。理事長:長尾 真)は、NICTが運用している研究開発テストベッドネットワーク「JGN2」(注1)の活動の普及促進に努めるとともに、「JGN2」の利用拡大を図るため、産・学・官・地域の情報交換等の促進を目的として1月18日(水)～20日(金)に「JGN2シンポジウム2006 in仙台」(開催場所:仙台国際センター)を開催します。

本シンポジウムでは、国内外のネットワーク関係の有識者に多数ご参加いただき、講演を行う他、「ICTを活用した地域の活性化」、「超高速で世界が繋がる」、「JGN2の今後の展開」をテーマとして、パネルディスカッションを行います。

また、総務省からの委託研究開発プロジェクト(注2)の一環として実施される「世界初の大容量(4K)非圧縮映像の6Gbps IPストリーム伝送実験」をはじめ、JGN2を利用して実施する各種実験のデモンストラーション、JGN2を活用した研究開発の成果発表、パネル展示の他、JGN2を活用した研究開発アイデアコンテスト表彰式等を行う予定です。

(注1)NICTが構築・運用するオープンな研究開発テストベッドネットワーク。詳細は別紙3、4をご覧ください。

(注2)次世代型映像コンテンツ制作・流通支援技術の研究開発

- 1 日時 平成18年1月18日(水)13:30～20日(金)16:30
- 2 場所 仙台国際センター(仙台市青葉区青葉山)
- 3 主催 独立行政法人 情報通信研究機構
- 4 共催 電子情報通信学会 インターネットアーキテクチャ研究会  
電子情報通信学会 インターネット技術とその応用時限研究専門委員会  
情報処理学会 高品質インターネット研究会  
The International Conference on Information Networking (ICOIN2006)  
Japan Network Operators' Group (JANOG17)
- 5 後援 総務省、宮城県、仙台市、国立大学法人東北大学、社団法人東北経済連合会、東北六県商工会議所連合会、株式会社河北新報社、財団法人仙台応用情報学研究振興財団、東北インテリジェント・コスモス構想推進協議会、社団法人日本ケーブルテレビ連盟東北支部、社団法人宮城県情報サービス産業協会、デジタルシネマ実験推進協議会、東北地方JGN2利用推進協議会
- 6 内容 プログラムは別紙1、デモ展示一覧は別紙2を参照
- 7 参加費 無料
- 8 参加申込 本シンポジウムは、事前登録制となっております。  
(申込期限:平成18年1月13日(金))参加ご希望の方は、JGN2シンポジウムホームページ(<http://www.jgn.nict.go.jp/sympo2006/>)をご利用いただくか、FAXにてお申し込みをお願いいたします。

シンポジウム お申込先  
JGN2シンポジウム2006事務局  
TEL:03-3769-6865 FAX:03-5439-7320

<問い合わせ先>  
情報通信研究機構 総務部 広報室  
奥山 利幸、大野 由樹子  
Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<シンポジウムに関する問い合わせ先>  
拠点研究推進部門テストベッド推進室  
石塚 仁好、高西 功  
TEL:03-3769-6865、Fax: FAX:03-5439-7320



## 「JGN2シンポジウム2006 in 仙台」プログラム

●平成18年1月18日(水)

13:30～13:50 **開会挨拶**

独立行政法人情報通信研究機構

**来賓挨拶**

総務省、宮城県

13:50～14:10 **基調講演「次世代IT戦略とJGN2」**

野口 正一((財)仙台応用情報学研究振興財団 理事長)

14:15～14:45 **特別講演1「イノベーター日本」の実現におけるJGN2への期待**

柘植 綾夫(総合科学技術会議 議員)

14:50～15:20 **特別講演2「4K非圧縮ライブデモンストレーション」**

青山 友紀(東京大学 教授)

15:30～15:50 **コンテスト表彰式など**

「JGN2を活用した研究開発アイデアコンテスト」最優秀賞、優秀賞、総務大臣賞

16:10～18:10 **パネルディスカッション1「ICTを活用した地域の活性化」**

チェア:相原 玲二(広島大学 教授)

パネリスト:

菊池 豊(高知工科大学 助教授)

古賀 達蔵(つくばJGN2リサーチセンター センター長)

近藤 弘樹(佐賀大学 教授)

曾根 秀昭(東北大学 教授)

長友 信裕(アボック株式会社 代表取締役社長)

●平成18年1月19日(木)

10:30～12:00 **研究発表**

チェア:島村 和典(高知工科大学 教授)

発表者:

小林 和真(岡山JGN2リサーチセンター/倉敷芸術科学大学 教授)

鶴 正人(北九州JGN2リサーチセンター/九州工業大学 助教授)

楠田 友彦(JANOG/インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス株式会社)

下川 俊彦(QAI/IA/TAI合同研究会/九州産業大学 助教授)

13:30～14:10 **特別講演3**

Jianping Wu (Director of CERNET Center/中国清華大学 教授)

14:30～16:00 **海外パネルディスカッション(英語)「超高速で世界が繋がる」**

チェア:池田 佳和(東京工業大学 特任教授)

パネリスト:

Dai Davies (DANTE General Manager)

Jianping Wu (Director of CERNET Center/中国清華大学 教授)

Matthew J.Zekauskas (Senior Engineer Internet2)

江崎 浩(東京大学 教授)

後藤 滋樹(早稲田大学 教授)

16:15～18:00 **パネルディスカッション2「JGN2の今後の展開」**

チェア:尾家 祐二(JGN2研究開発プロジェクト総括責任者/九州工業大学 教授)

パネリスト:

坂内 正夫(国立情報学研究所 所長)

下條 真司(大阪大学 教授)

村井 純(慶應義塾大学 教授)

河内 正孝(NICT 理事)

●平成18年1月20日(金)

10:00～16:30 **共催研究会によるパラレルセッション**

電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会

電子情報通信学会インターネット技術とその応用時限研究専門委員会

情報処理学会高品質インターネット研究会

※氏名はアルファベット順、五十音順

## デモ展示一覧表(予定)

区分	タイトル	出展機関
NICT JGN2 リサーチセン ター	NICT東北JGN2RC研究紹介	東北JGN2リサーチセンター
	イベント検出支援システムの開発	〃
	GMPLS技術によるオンデマンド波長パスシステム	つくばJGN2リサーチセンター
	JGN2を利用したインタラクティブコミュニケーションの実現	〃
	VoIP/SIP 相互接続検証タスクフォース活動における検証デモ	大手町JGN2リサーチセンター
	広域ネットワークを利用したGrid技術	大阪JGN2リサーチセンター
	IPv6マルチキャストの信頼性・性能評価の検証	岡山JGN2リサーチセンター
	サラウンディング・コンピューティング環境における情報転送・再現技術	高知JGN2リサーチセンター
	アクセス系ネットワーク技術に関する研究開発 —NICT北九州JGN2リサーチセンターの研究紹介—	北九州JGN2リサーチセンター
NICT	妨害電波可視化の研究	拠点研究推進部門 仙台高感度電磁波測定技術リサーチセンター
	Midfieldlによるトランスコーディング機能とHDV1080i映像伝送機能ご紹介	拠点研究推進部門 岩手IT研究開発支援センター
	HDV、DV映像伝送とデジタルアセットマネージメント	総合企画部国際連携室 /東京エレクトロン(株)
	e-VLBI実験	無線通信部門 鹿島宇宙通信研究センター宇宙電波応用グループ
	GMPLSドメイン間相互接続、広域接続のための網間インタフェースの開発	情報通信部門 超高速フォトニックネットワークグループ
	NICTの活動のご紹介	NICT
一般	工業系高等学校におけるIPv6を用いたユビキタス社会実験研究	佐賀大学
	SRTPによる暗号化映像伝送の研究	株式会社 電通国際情報サービス
	グリッドとGMPLSネットワークの連携実験	独立行政法人産業技術総合研究所
	超高精細コンテンツ分散流通技術の開発	三菱電機株式会社
	4Kデジタルシネマ配信実験の紹介	デジタルシネマ実験推進協議会 (DCTF)

## 研究開発テストベッドネットワーク(JGN II)の概要

### 1. 目的

産・学・官・地域等と連携して以下のような施策を推進

- ・基礎的・基盤的な研究開発から実証実験まで広範な情報通信技術の研究開発の促進
- ・地域の活性化
- ・実践的な研究活動を通じた人材育成
- ・将来のIT社会の姿を展望・実践等

### 2. 特徴

- ・研究開発用にオープンなテストベッド・ネットワーク
- ・光とIPを基本としたネットワーク
- ・ネットワークをJGN (最大2.4Gbps) に比べ最大20Gbps (10Gbps × 2) に高速化
- ・各都道府県にアクセスポイントを設置 (計 64箇所)
- ・最先端の光交換機を導入し、高速交換等を実践
- ・多様な実験が可能な光テストベッド環境を併せて整備
- ・日米回線 (平成16年8月から運用開始)、アジア回線 (平成17年11月から運用開始) についても併せて整備

### 3. 利用方法

事前に「JGN II 研究計画書」を提出。(詳細は、[http:// www.jgn.nict.go.jp](http://www.jgn.nict.go.jp) を参照)

### 4. 運用時期

平成16年4月～平成20年3月(予定)

